

月	題材名	題材のねらい（目標）	教材名 ●は鑑賞教材	評価基準	共通事項
4	歌声をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 新しい仲間と歌う喜びをわかちあい、音楽学習への意欲、態度を育てる。 	校歌 輪唱	(ア) 希望に満ちた曲を仲間と共に行のびと意欲的に表現しようとしている。 (イ) 自分なりの願いをもって力強い表現のための工夫をしている。 (ウ) 明るい声で楽しみながら輪唱をすることができる。	旋律 テラス17
	日本の歌を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動を通して、日本の作曲家の様々な特徴を味わったり、表現を工夫したりして、音楽に対する感性を養う。 	花	(ア) 旋律の抑揚や語感を生かした表現をしている。 (イ) 歌詞の理解と描かれている情景をイメージして表現することができる。 (ウ) 作曲者の思いや背景を理解し、歌詞の内容を生かした表現豊かな表現をすることができる。	旋律 強弱
5	曲想を感じてのびのび歌おう	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取って、音楽表現を工夫する能力を育てる 八長調の理解と視唱 	夢の世界を	(ア) 歌うときの姿勢や呼吸法を体得して響きのある声で歌おうとしている。 (イ) 無理のない姿勢でスムーズに歌うことができる。	リズム 旋律 強弱 音色
6	ギターを弾いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ギターの音色や基礎的な奏法に関心を持ち、主体的に練習の取り組みもうとする力を育てる。 	Em7、Em E、Am、C D、G、F (年間を通じて増やしていく。)	(ア) 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏できる。 ※グループ学習を協力してできる。 ※学期に一回コード弾きテスト	音色
	パートリーダー決め	<ul style="list-style-type: none"> 音楽会に向けて、リーダー中心の練習に慣れる 	花テスト	※各パート、数人ピックアップ。それを基に担任と相談。	
7	混声合唱の喜び	<ul style="list-style-type: none"> 旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる。 歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。 	学年合唱曲 クラス合唱曲 全校合唱曲	(ア) 他の声部との関わりや和声的な響きに関心を持ち、合唱表現をすることに意欲的である。 (イ) 詩と音楽が一体となっている合唱曲の表現効果を感じ取っている。 (ウ) 合唱表現の技能を身につけている。 (エ) グループで協力しながらアンサンブル表現を工夫しようとしている。	リズム 旋律 テラス17 強弱 速度 形式 構成 音色

9	合唱の喜び	<ul style="list-style-type: none"> • いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 • 歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。 	学年合唱 クラス合唱	<p>(ア) 他の声部との関わりや和声的な響きに関心を持ち、合唱表現をすることに意欲的である。</p> <p>(イ) 詩と音楽が一体となっている合唱曲の表現効果を感じ取って工夫している。</p> <p>(ウ) 合唱表現の技能を身につけている。</p>	旋律 形式 強弱 テカチヤ 構成
10	ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> • さまざまなポピュラー音楽について、それらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫に生かしたりする 	ジャズ ロック ブルース	<p>(ア) さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、音楽を形づくっている要素や構造の働きが生み出す曲想の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(イ) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	リズム 旋律 テカチヤ 音色
11				<p>(イ) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	
12	音の重なりや音色の交替によって生まれる面白さを味わおう	<ul style="list-style-type: none"> • リズムの重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる 	打楽器のための小品	<p>(ア) 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏しようとしている。</p> <p>(イ) 手拍子の特徴をとらえ、演奏すること。</p> <p>(ウ) パートの役割や全体のバランスを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</p>	リズム テカチヤ 強弱 形式 構成
1	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> • 音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 	ブルタバ	<p>(ア) 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(イ) 音楽の特徴とその背景となる歴史に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(ウ) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(エ) 音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。</p>	音色 速度 旋律 強弱
2				<p>(エ) 音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。</p>	
3	心の合唱 卒業式の音楽	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業式に向け、心を込めた演奏を心がけ、表現の技能を高めさせる。 	旅立ちの日に 手紙 卒業式の歌	<p>(ア) 歌詞と旋律との関わりを理解し意欲的に表現しようとしている。また、曲の背景や作詞者の心情に関心を持ち、歌い継いでいこうとする意欲をもっている。</p> <p>(イ) 声部の役割や全体の響きとのかわりを理解して音楽表現を工夫することができる。</p> <p>(ウ) 響きのある声で、正しい音程でなめらかに歌うことができる。</p>	旋律 形式 強弱 テカチヤ 構成